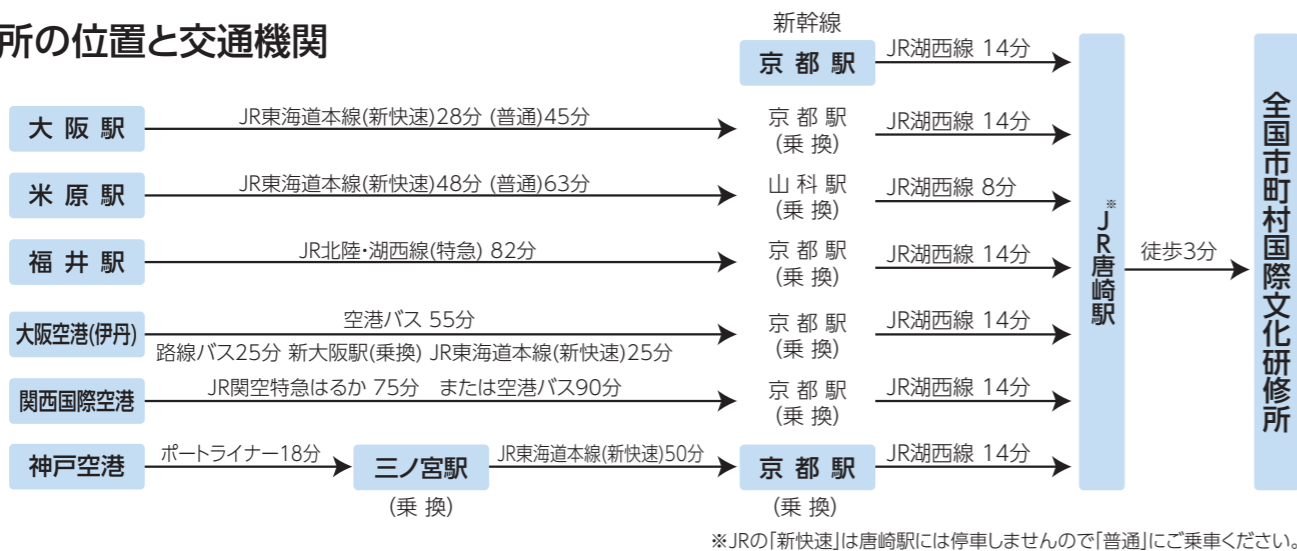
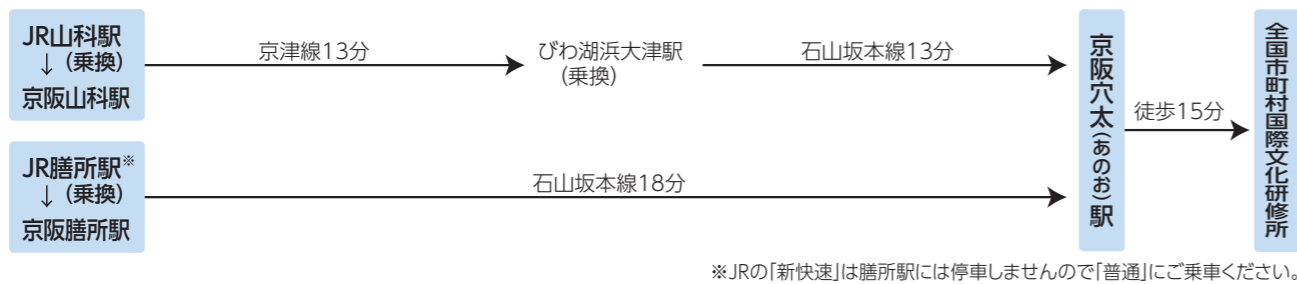


研修所の位置と交通機関



京阪電車によるアクセス



2019年度

全国地域づくり人財塾

主催:総務省、全国市町村国際文化研修所

地域活性化のためには、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切です。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するため、本講座を開催いたします。地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

開催要領

- 日程** 2019年5月8日(水)～5月10日(金) (3日間)
- 場所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
- 対象** 市区町村等職員、地域づくりに取り組むNPO関係者及び地方創生カレッジ受講中又は受講済みの皆様
 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
- 募集人数** 50人
 申込期限【第1回】(2019年3月26日)までに募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
- 宿泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
- 経費** 10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
- 申込期限** 【第1回】2019年3月26日(火)まで 【第2回】2019年4月12日(金)まで
 第1回申込期限終了後、募集人数を大幅に超えた場合は、第2回申込の受付を行いません。また、第1回申込期限後の受付は、先着順となりますので、期限までに締め切る場合がございます。詳細は、ホームページでお知らせします。
- 申込方法** JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
 議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。
 「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(https://www.jiam.jp/doc/)にも掲載しております。
- 受講決定** 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
 第2回申込の場合は、開講日の3週間前を目途に通知をお送りいたします。
 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
- 事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部
 〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906
 [e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

2019年
5月
8日(水)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 12:30～ 開講・オリエンテーション
- 13:00～13:15 **導入** **人材力の活性化について**
総務省地域力創造グループ地域自立応援課人材力活性化・連携交流室 室長
「地域の人材力」向上の必要性和総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待についてお話しいただきます。
- 13:15～14:10 **実践事例** **クリエイティブな地域づくり**
(一財)地域活性化センター 人材育成プロデューサー 前神 有里氏
29年間の県職員時代に、地域包括ケア・虐待防止を担当したことをきっかけに地域に深く関わるようになり、その後地域担当職員として市町・地域おこし協力隊・地域のひととともに地域づくりに取り組んでこられました。2018年4月から現職。
県職員経験をもとに、公務員が「職務経験を地域で生かす」・「地域での経験を職務で生かす」ためのポイントを、また、地域活性化センターでの御経験をもとに、課題解決から入らない新しい価値創造型の地域づくり・人材育成についてお話しいただきます。
※参考HP:【地方創生カレッジ(https://chihousei-college.jp/)講座No.83】
- 14:25～15:35 **実践事例** **人が幸せに生きる公園づくり**
NPOフュージョン長池 会長 富永 一夫氏
東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンだった講師が、47歳で会社を辞めて地域に戻り、暮らしを支援するNPO法人を設立。住宅管理支援事業、高度情報化支援事業等々の事業を立ち上げ、八王子市都市公園の指定管理者として地域課題の解決に取り組む。後継者育成にも専心し、2016年に全ての経営権を30代と20代に移譲。2012年には、緑の都市賞(国土交通大臣賞)を受賞。2017年8月には、eラーニングの教材を開発し、「公園経営学校」を主宰。
2016年度 総務省ふるさとづくり大賞(大臣表彰)受賞。
“都市郊外”の新興住宅地で、既存の住民と新住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の経験をもとに、どのような点に留意して地域活動を展開すべきか、その要諦を講義いただきます。
※参考HP:【NPOフュージョン長池(http://www.pompoco.or.jp/)】
【地方創生カレッジ(https://chihousei-college.jp/)講座No.80】
- 15:50～17:00 **実践事例** **地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～**
柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎氏
柳谷地区(通称:やねだん)は、鹿児島県肝属平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀作品受賞、「むらづくり日本一」受賞。また、平成30年度ふるさとづくり大賞(内閣総理大臣賞)受賞。
全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重柳谷自治公民館館長の経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。
※参考HP:【やねだん(http://www.yanedan.com/)】
【地方創生カレッジ(https://chihousei-college.jp/)講座No.81, No.95】
- 17:00～17:30 **グループトーク** 本日の研修の振り返り
- 17:30～17:45 **説明** **「地方創生カレッジ」について**
(一財)地域活性化センター 理事長 椎川 忍氏
- 18:15～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

2019年
5月
9日(木)

- 9:00～9:25 **グループトーク** 全体での共有
- 9:25～10:35 **実践事例** **地域づくりのマネジメント～つながりをつくり創発を生む仕組みづくり～**
慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛 義徳氏
地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的な方策を探求されています。
その経験から、先進事例の成功要因に基づき、「個々の人材の活かし方」「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から講義いただきます。
※参考HP:【慶應義塾大学飯盛義徳研究室(http://isagai.sfc.keio.ac.jp/)】
【地方創生カレッジ(https://chihousei-college.jp/)講座No.57】

2019年
5月
9日(木)

- 10:50～12:00 **実践事例** **地方はチャンス～1粒1000円のライチが生んだ奇跡**
(一財)こゆ地域づくり推進機構(略称:こゆ財団) 代表理事
特定非営利活動法人まちづくりGIFT 代表理事
慶應義塾大学 非常勤講師 齋藤 潤一氏
米国シリコンバレーのIT企業でブランド・ディレクターとして勤務。東日本大震災を機に、「ビジネスで地域課題を解決する」を使命に活動を開始。シリコンバレーのデザイン思考の手法を取り入れた特産品の開発や人材育成を全国各地で行う。その活動は、「シリコンバレー流の地域づくり」として日経新聞で取り上げられ、「地方創生実現ハンドブック」(日経BP)で地方創生の成功事例として選出された。2017年4月、一般財団法人こゆ地域づくり推進機構の代表理事に就任。1粒1000円のライチの開発や起業家育成で多くの実績を残し2018年12月、国の地方創生事例に選定され、首相官邸にて総理大臣ほか大臣にむけて発表を行った。経営学修士(MBA)。
※参考HP:【こゆ財団(https://koyu.miyazaki.jp/)】【NPO法人まちづくりGIFT(https://machi.gift/)】
- 13:00～15:35 (途中休憩あり) **講師との直接対話 I**
受講決定通知後の事前アンケートの希望に沿って、講師ごとにグループをつくり、受講者からの質問に講師が応える形式で直接対話を行います。
直接対話は、講師の話聞くだけでなく、他の受講者の意見を聞きながら、「みんなで学び合う場」です。
講師1 慶應義塾大学総合政策学部 教授(学部長補佐) 飯盛 義徳氏
講師2 NPOフュージョン長池 会長 富永 一夫氏
講師3 柳谷自治公民館 館長 豊重 哲郎氏
講師4 (一財)地域活性化センター 人材育成プロデューサー 前神 有里氏
講師5 (一財)こゆ地域づくり推進機構 代表理事 齋藤 潤一氏
※齋藤講師については、第1ラウンドのみとなります。
- 15:50～18:25 (途中休憩あり) **講師との直接対話 II**
Iと同様に、グループごとに直接対話を行います。Iとは別の講師と対話を行います。
- 18:35～19:00 **グループトーク** 本日の研修の振り返り

2019年
5月
10日(金)

- 9:00～9:25 **グループトーク** 全体での共有
- 9:25～10:35 **事例報告** **全国地域づくり人材塾既受講者からの報告1**
「全国地域づくり人材塾」既受講者から、現在の地域づくり活動の取り組みについて報告を行っていただきます。
- 10:50～12:00 **事例報告** **全国地域づくり人材塾既受講者からの報告2**
- 13:00～14:10 **成果発表と振り返り**
3日間の研修での体験を踏まえて、「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」をまとめ、行動宣言を行います。
- 14:10～14:40 **研修アンケート記入、閉講**

●各講師が講義を行っている(一財)地域活性化センター等が提供する「地方創生カレッジ」の講座を受講したり、関係HPを参照してから、当人材塾に臨むことにより、講義への理解がさらに深まることを期待できます。

平成30年度研修受講者の声～研修アンケートから～

- 実践を踏まえた上での大切なポイントや失敗談を聞くことができ、悩みを解決することができました。
- 地域と関わる姿勢を見直す機会となりました。
- 同じような取り組みをしている仲間がいるということをとて心強く感じました。
- まずは一歩ずつできることから行動しようと思いました。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。